

## 実践事例07

# ひらがなの読み書き指導の アセスメントから指導へ



# (1) 目的

早い段階（1年生）で、学習の土台となる「ひらがなの読み書き」の力を付ける。

方略の  
獲得



モチベーション  
(やる気、意欲)



成功体験



自己効力感  
チャレンジすれば  
きっとできる!



学習への  
苦手意識軽減

自己肯定感の  
低下防止



学力不振の  
未然防止

不適応行動の  
未然防止

## (2) 「読み書き」のアセスメント (年間計画)

# 読み

# 書き

7月  
上旬

①直音音読検査(1年)  
※資料1

下位検査 ※資料2  
(対象児のみ)

①聴写テスト  
※資料3

9月  
上旬

直音音読検査  
(対象児のみ)

下位検査  
(対象児のみ)

11月  
上旬

②直音音読検査(1年)

①拗音音読検査  
(1年)  
※資料4

②聴写テスト

1月  
中旬

③直音音読検査(1年)

②拗音音読検査  
(1年)



# 直音音読検査

実施日( 年 月 日) 検査番号( ) 通し番号( ) 学校名( )  
 ( )組( )番 性別(男・女) 生年月( 年 月) 利き手(右・左)

直音音読検査 (読飛ばし○、読み誤り×、自己修正△)

41		31		21		11			
わ	べ	ぶ	ゆ	る	お	は	べ	け	ば
す	み	む	で	ぼ	せ	め	や	せ	て
た	ざ	だ	あ	き	げ	び	ぎ	ろ	か
ぶ	よ	ほ	が	の	ふ	つ	こ	ん	を
ち	ぞ	ら	く	ち	ど	づ	ひ	れ	う

91		81		71		61		51	
え	ぐ	せ	な	わ	に	ご	ぬ	へ	ぼ
こ	れ	だ	ば	を	げ	ね	ず	し	そ
び	ぼ	り	す	め	む	じ	さ	え	も
た	ち	ぶ	ら	ず	み	ま	な	ば	り
や	う	ま	べ	お	ど	ぐ	と	い	び

141		131		121		111		101	
あ	ろ	そ	ふ	あ	ほ	か	は	ち	へ
う	ひ	ぬ	ぎ	ぬ	つ	も	ぎ	き	よ
け	ば	ぞ	と	ば	じ	ぜ	に	へ	ご
ぜ	て	き	ん	し	く	て	が	ゆ	け
ろ	か	ぼ	び	で	づ	ぶ	る	の	い

1分以内に読み終わった場合は時間を記録 ( 分 秒)

・直音音読検査(まとめ)

合計	1分間に 読んだ文字数(A)	読 読 数 (B)		自己修正△	1分あたりの 文字数(A-B)
		読み飛ばし○	読み誤り×		

実施手順 (ひらがなシート(直音)は3枚を横につなぎ合わせて使用する。)

- 1) 子どもの前にひらがなシート(直音:3枚を横につなげたもの)を置く。  
 「ここに書いてあるひらがなを、縦に、このように(指で2行目あたりまでたどって見せて)、  
 声を出して順に読んで下さい。時間を計るので、間違えないように、できるだけ早く  
 読んで下さい。分からないものは、飛ばしてもかまいません。"おわり"と言ったら  
 やめて下さい。」
- 2) 最初の部分を手で隠す。  
 ①「では始めます。スタート！」  
 「スタート」と言ってから、隠していた手を離し、同時にストップウォッチを押す。  
 ※子どもが音読中に読み飛ばし(○)、読み誤り(×)、自己修正(△)をチェックして記入。  
 ※読み誤り(×) →余符があれば本人が言ったとおりを記載しておく  
 ②「おわり！」 1分たったらストップウォッチを止める。
- 3) 読んだ文字数、読み飛ばし、読み誤りなどを記録用紙に記入。

※子どものベストパフォーマンスを測定する。

(シートを持って読んだり、指差しながら読んでもよい、不測の手順が生じたときは再測定を行う。)

清音46文字、濁音20文字、半濁音5文字の全71文字から構成されるシートを読み上げる検査。1分間に何文字読み上げることができたかを測定する。

# 下位検査(清音読み確認)

ひらがなをよもう⑨  
なまえ

ひらがなを こえに だして よみましょう。  
よめたら ひらがなに ○を しましょう。

る う め せ  
む な つ へ あ  
こ の き そ け ら ね  
ま は て え や い く  
れ か に り も わ ち  
と を た ぬ す み  
さ ほ し よ ゆ ふ  
ん ひ お ろ

20

引用文献:「喜楽研の支援教育シリーズ ゆっくりていねいに学びたい  
子のためのひらがな ワーク」原田善造編著・喜楽研 P.20



# 下位検査(濁音、半濁音読み確認)

ひらがなをよめよう⑩

なまえ

ひらがなを こえに だして よみましょう。  
よめたら ひらがなに ○を しましょう。

21

引用文献:「喜楽研の支援教育シリーズ ゆっくりていねいに学びたい  
子のためのひらがな ワーク」原田善造編著・喜楽研 P.21

# 聴写テスト

- ひらがな単語聴写テスト
- ⑩ おねえさん  
 ⑨ おばあさん  
 ⑧ ぶどう  
 ⑦ かけっこ  
 ⑥ こつぶ  
 ⑤ ぼすと  
 ④ らいおん  
 ③ なかよし  
 ② たぬき  
 ① さる
- ⑳ しゅっぱつ  
 ⑱ きゅうしよく  
 ⑱ しゃっくり  
 ⑱ ほっきよく  
 ⑱ かぼちゃ  
 ⑱ きやべつ  
 ⑱ ほうちよう  
 ⑱ こおり  
 ⑱ とけい  
 ⑱ しいくごや

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

が  
つ

に  
ち

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11

な  
ま  
え

参考文献:「通常の学級でやさしい学び支援2巻 読み書きが苦手な子どもへの<つまずき>支援ワーク」村井敏宏著・明治図書

## 拗音音読検査

ちいさい「や」「ゆ」「よ」を ただしく よもう

き や	し や	ち ゆ	し ゆ
に よ	り や	ち よ	
み よ	み ゆ	に ゆ	き ゆ
き よ	し よ	り よ	
ち や	み や	り ゆ	に や

ちいさい「や」「ゆ」「よ」を ただしく よもう

ぢ ゆ	び や	ぴ や	ぎ ゆ
じ ゆ		ぴ よ	
ぎ よ	ぴ ゆ	び ゆ	ぢ よ
ぢ や	び よ	じ よ	
	ぎ や	じ や	

(3) 「読み」のアセスメントから  
指導へ

# 直音音読検査

- ・対象：1年生
- ・実施方法：児童と教師が一对一で行う。  
タイマーを1分間セットする。  
児童がシートを見ながら音読み、  
教師が誤読や未読を記入する。



※鳥取市教育センター「ひらがな音読支援」の取組（鳥取大学方式）を参考に、

**【1分間に読むことができた文字数 $\leq$ 54文字】の児童**

には、下位検査（清音、濁音、半濁音の読み）を実施する。

# 夏季休業に向けて



## 【基準に満たなかった児童】

- ①イラスト付きひらがなカード(清音、濁音、半濁音)
- ②「ことばとかな文字で、たのしくあそぼう 2022夏」吉田英生先生作成
- ③「ひらがなの確実な習得のために」吉田英生先生作成



ひらがな清音46文字カードの使い方とことば遊びのすすめ(例)  
ことばとかな文字で、たのしくあそぼう 2022夏  
津山市特別支援教育推進センター

1年生の1学期が終わりました。  
ひらがなを覚えたり、書いたりすることが、まだできにくい子どもさんは、夏休みの間に文字カード遊びを楽しみながら、ひらがなの読み書きを身につけてみましょう。

1日5分、子どもと遊ぶことができる方法をご紹介します。それぞれのご家庭でアレンジして、楽しみながら読み書きの基礎となる力をつけてください。

- ① ひらがな清音46文字カードをはさみで切って、1枚ずつのカードにします。
- ② お子さんが、覚えている文字と苦手な文字を確かめましょう。  
1文字ずつ読ませてみると、次の3つのグループに分かれます。  
A: すでに正しく読むことができる文字  
B: ほかの読み方と間違える文字  
C: 「わからない」と言う、まだ覚えていない文字
- ③ BとCに入ったかな文字は、カードのように「たこの『た』『ろうそくの『ろ』」と、かな文字を覚える時に絵のイメージがある方が覚えやすくなります。
- ④ 「たこ」と、口で唱える時に、「た、パン」と手拍子を打ち、一音一文字であることを確かめてあげることも効果的です。
- ⑤ 「たこの『た』で、『た』を読み書きできるようになったら、『た』がつくことば(たさ、たけ、たんぼ)をしたり、『ことばの最後や真ん中に『た』があることば(かた、あたま)」を集めたりして、遊びましょう。
- ⑥ 「タスキで言おう」という遊びもあります。『たまねぎ』の『た』を取ると、何になる?⇒『まねぎ』、『ももたろう』の『た』を取ると、何になる?⇒『ももたろう』。
- ⑦ 「はんたいことば」「かくれているもの、なかに」という遊びもあります。「動物の名前を並列に言います。『いかねむ、何でしょう?』『れいそうこ』の中に隠れている動物は何でしょう?」

※あ、7のような遊びは、音韻認識(ことばの音の構造に注意を向けたり、それを操作しだける力)を高めます。親子やきょうだい、楽しく、かしく、遊びましょう。

ひらがなの確実な習得のために

・単語は知っている。「りんご!」  
・50音も書える。「あ、い、う、え、お...」  
・読み書きの練習も繰り返している。  
ところが、何回書いて練習しても、忘れてしまう児童はいませんか?

指導のポイント  
清音・濁音・半濁音は一文字に対して一つの音と形がある。しかし、漢字のように、文字自体に意味がないため、記憶することが難しい児童がいる

そこで⇒ ひらがなに「意味」をもたせる。  
かな文字を「キーワード(絵)」と対応させて、読みを覚えさせる。  
つまり、形 — 音の関係を視覚(意味)と合わせて覚えやすくする。

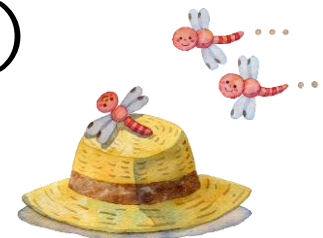
意味  
形 — あ — 音

文字と音と意味がつかないと、意味(絵)を取っても、文字が想起されるようにならない。  
\*カードの絵の大きさを変えて、文字を強調し、やがて文字だけで読めるようにしていく。  
あ — 「a」

絵カードデータは、CUIの書籍に入れた予定です。個別の指導や補助カード、夏休みの家庭学習に活用してください。

# 夏季休業に向けて

- ・1年生担任へ①～③を渡す。
- ・7月下旬の個人懇談で、①②を保護者に渡し、学習サポートをお願いする。
- ・9月上旬 直音音読検査の実施(対象児のみ)  
下位検査の実施(対象児のみ)



【1分間に読むことができた文字数≦54文字】



取り出し指導(3rdステージ)

1stステージ

## 通常学級内での指導

・学級内での  
フラッシュカード

2ndステージ

## 通常学級内での 補足的な指導

・夏休みの宿題  
(家庭の協力)

3rdステージ

## 集中的・個別的 指導





## **(4) 指導までの環境整備**

# 指導体制の整備



## ① 人的確保

校内教育支援委員会（夏季休業中）で、人的確保（支援学級担任1名）を行う。

## ② 時間調整

通級職員2名と支援学級担任1名で、指導可能な時間を調整する。



## ③ 場所の確保

空き教室の確認（学習室）をする。



## ④ ネット環境・ 周辺機器の確認

- ・Wi-Fi環境
- ・プロジェクターの有無
- ・スクリーンの有無 など

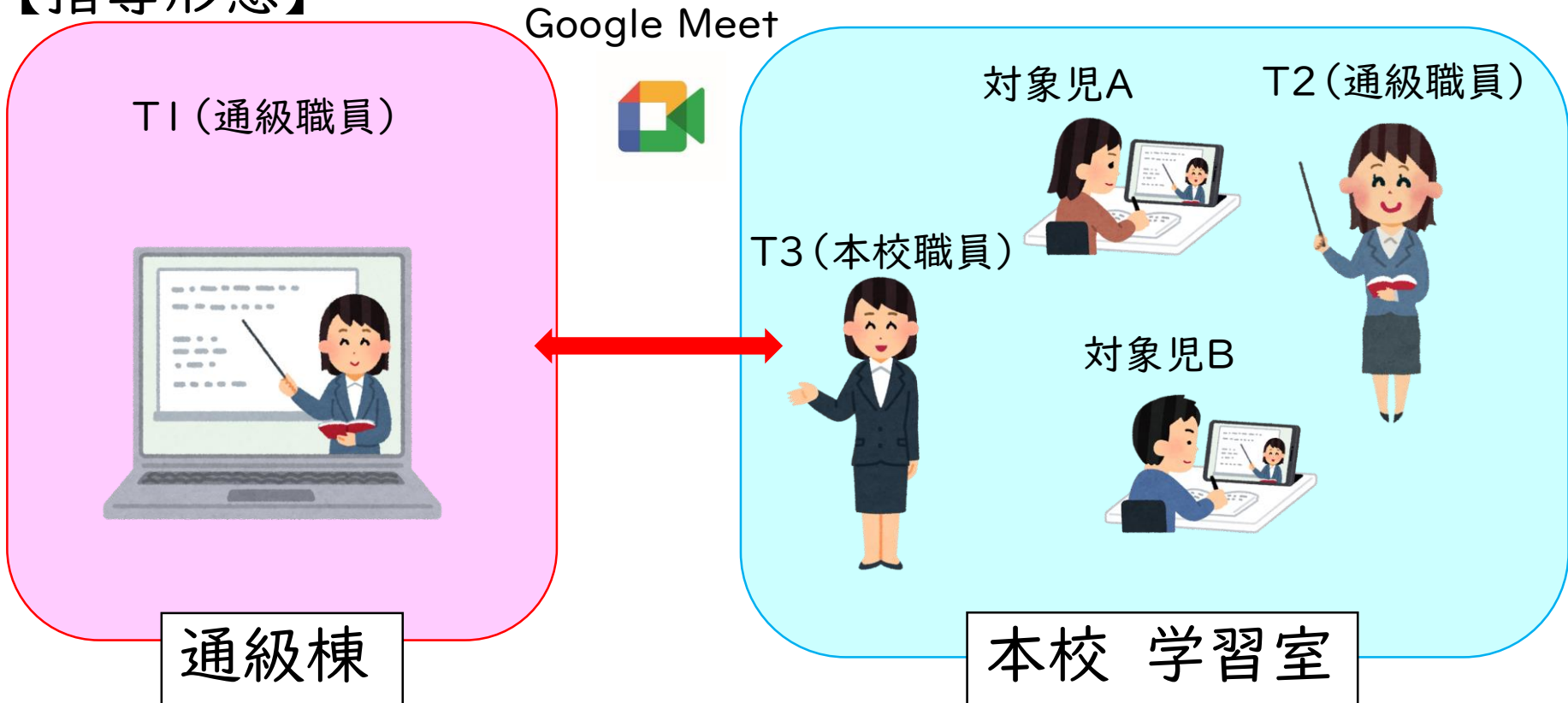


# 指導形態



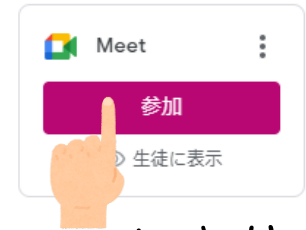
- ・9月中旬:ICTを活用した取り出し指導の実施  
(対象児2名)

## 【指導形態】



# 接続方法

- (1) 指導者1名がClassroomを作成する。
- (2) 指導者2名 (T2、T3) がClassroomに入る。
- (3) 指導時は、指導者2名 (T1、T2あるいはT3) がClassroomに入り、Meet【参加】ボタンを押す。
- (4) 本校:教師用タブレットでMeetに入る。  
プロジェクターにつないで、黒板に画面を表示する。  
通級:教師用タブレットでMeetに入る。  
画面共有の準備 (PowerPointスライドショー) をする。



通級棟



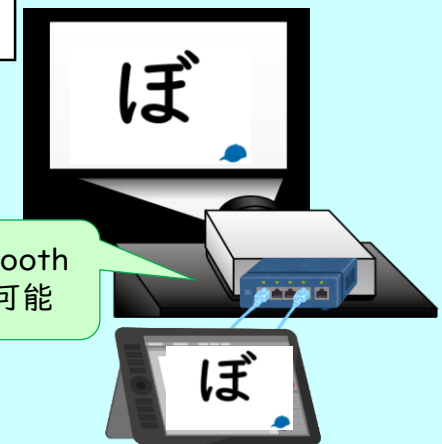
教師用タブレットWindows

本校 学習室

Google Meet



Bluetooth  
でも可能



教師用タブレットWindows

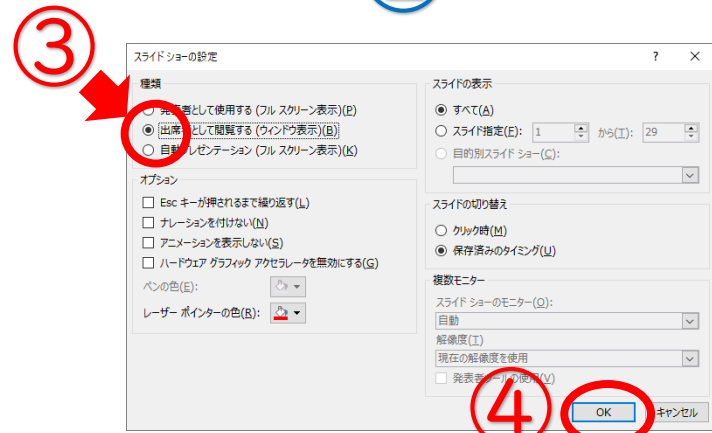
# 画面共有時の設定

## (1) PowerPointを開く。

①【スライドショー】を押す。



②【スライドショーの設定】を押す。



③【出席者として閲覧する】にチェック(●)を入れる。

④【OK】を押す。

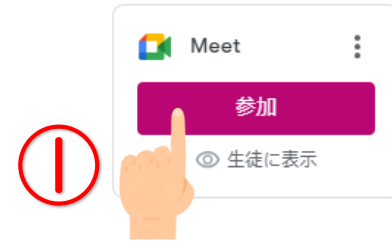
⑤スライドショーにする。



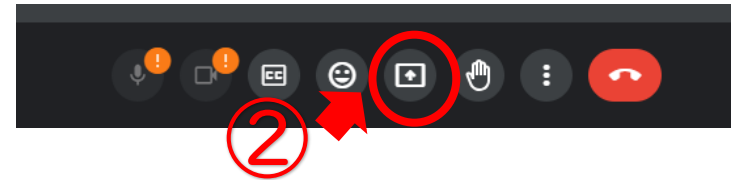
# 画面共有時の設定

## (2) Meetの接続

① ClassroomからMeetに参加する。



② 画面共有ボタンを押す。



③ 「ウィンドウ」  
「PowerPointスライドショー」  
を選択し、「共有」ボタンを押す。



## (5) 「読み」の指導へ

# 1～3回目の指導について



【曜日・時間】毎週水曜日8:20～8:30（朝の学習）

【指導場所】学習室（1年生教室隣）

【指導内容】

- ・イラスト付きひらがなカードによる読み練習
- ・フラッシュカード（イラスト付き）による読み練習
- ・フラッシュカード（文字のみ）での読み確認
- ・形が似ている文字の弁別（「ぬ」と「ね」等）





# 「目標」と「振り返り」

目的意識  
(ゴール)

モチベーション  
達成感

◆めあての確認 ※資料5

◆振り返り ※資料5

- ・「よくできた」「できた」「もうすこしががんばる」に丸(○)をする。
- ・読むことができた文字数(🌸の数)を数える。
- ・文字数に応じて、T2・T3は、シールを貼る。

# がんばりひょう

(9)がつ (27)にち

## がんばりひょう①

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ぬ	ね	へ	れ	わ	が	ぎ	ぐ	げ	ご

11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	だ	ぢ	づ	で	ど

21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
ば	び	ぶ	べ	ぼ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ

ふりかえり

よくできた	できた	もうすこしがんばる

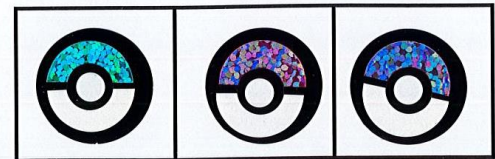
のかず

30


10







20

30



# 手持ち教材の準備

<p>ぱんがひとつで</p> <p>ぱ</p>	<p>2ほんのよこぼう ぼすとのまーく</p> <p>ぽ</p> 
-------------------------	--

 <p>さ</p>  <p>き</p>	<p>ぱ</p>	<p>ぴ</p> 
 <p>ぷ</p>	 <p>へ</p>	 <p>ぽ</p>

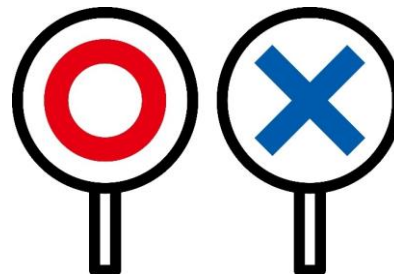
# 「補充学習」と「評価」

◆指導後、T2・T3による補充学習を行う。  
(定着度の確認、次回指導の課題確認)

◆T2・T3が音声評価を行う。  
(T1とT2・T3の評価のすり合わせ)



- ・ことばによる評価
- ・○×ブザーによる評価



# 4回目の指導について (一対一)

## 【ねらい】

- ・3回の遠隔指導による読みの定着度と書きのアセスメントを行い、今後の指導に生かす。

## 【指導内容】

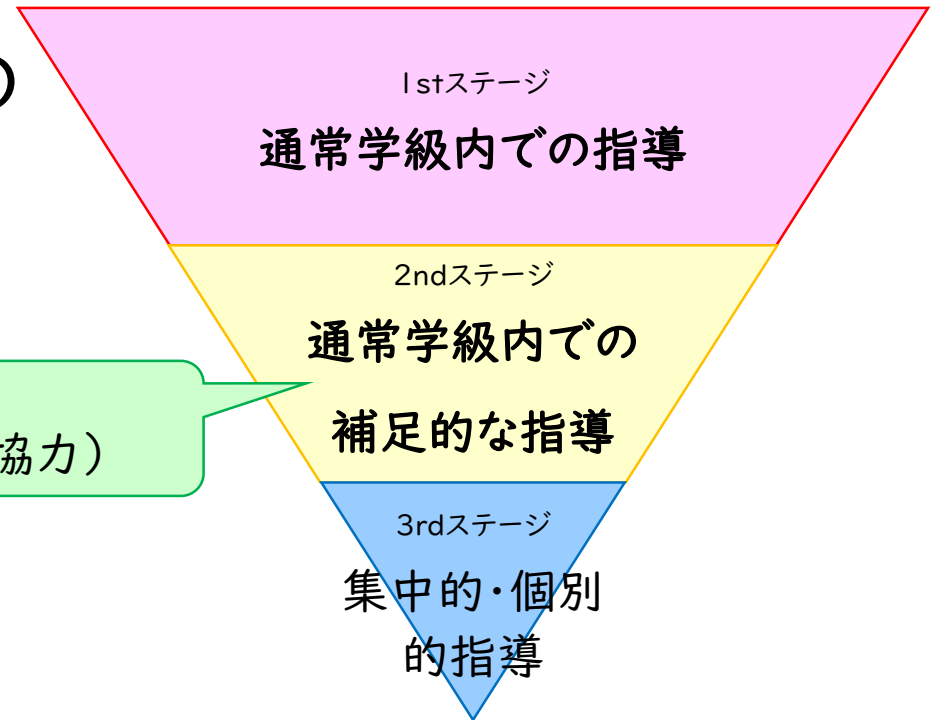
- (1) 読み(清音、濁音・半濁音)の確認  
(資料2-①、2-②)
- (2) 書き(清音46文字)の確認



# 結果を受けて

- ・対象児童の読み書きの  
アセスメント後、担任に  
資料を渡す。

・宿題+ $\alpha$   
(家庭の協力)



(参考)・多層指導モデルMIM

## (6) 「書き」の指導へ

# 5回目の指導について

【曜日・時間】水曜日8:20~8:30(朝の学習)

【指導場所】学習室(1年生教室隣り)

【指導内容】

・ひらがな書き練習(プリント)



・ひらがな書き確認(プリント)



\*T2は、カメラで児童の手元を写す。

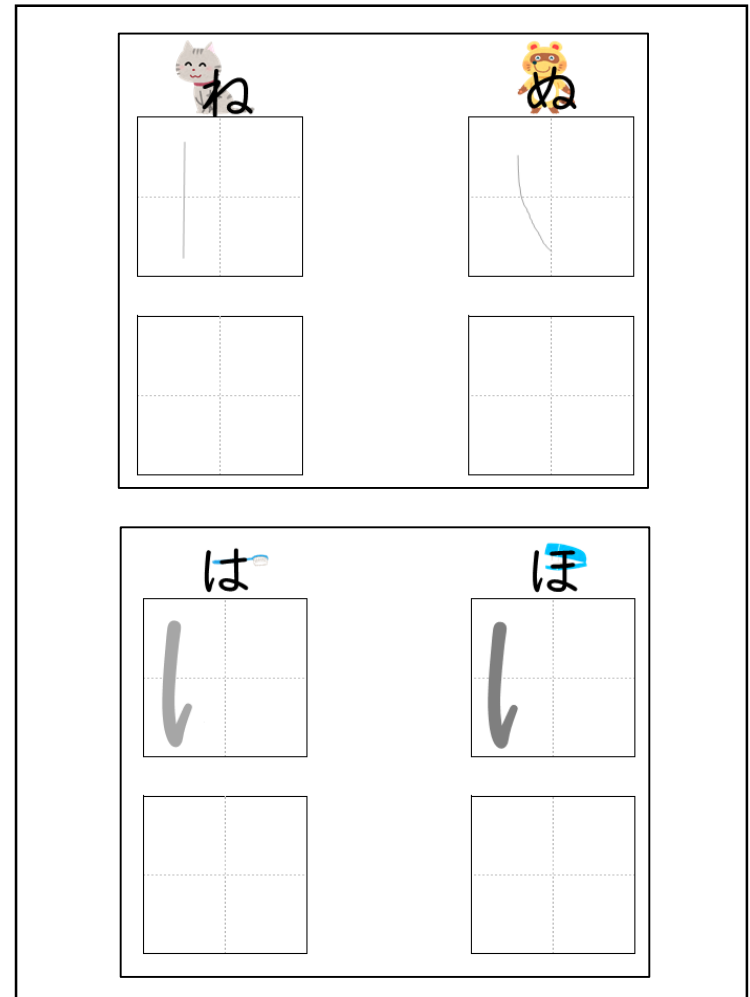
\*T3は、児童の書いたプリントを撮影し、  
Classroomに投稿する。



# 手持ち教材とプリントの準備

## 書きプリント

### 手持ち教材



# Classroomに投稿（評価）

Classroom > ★ひらがなすてっぷ★

ホーム   ストリーム   授業   メンバー

カレンダー

登録科目

ToDo

★ひらがなすてっぷ★

Meet

参加

期限間近

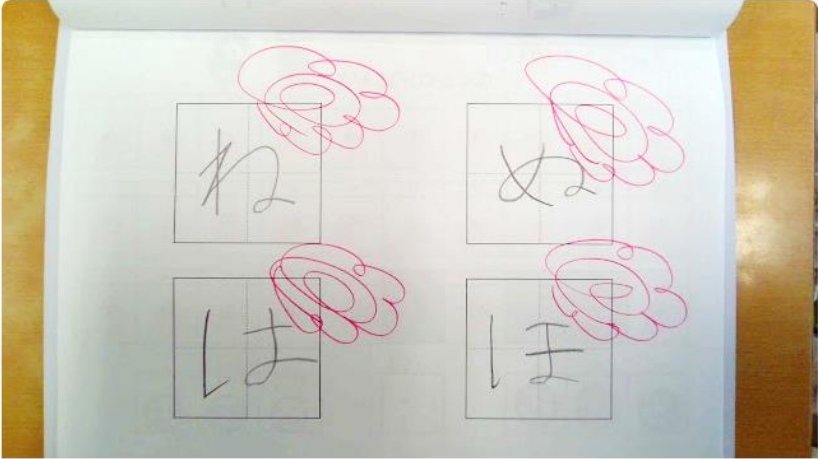
提出期限の近い課題はありません。

すべて表示

クラスへの進捗事項を入力

8:43

3



ね   ぬ

は   ほ

?

# 「評価」

- ◆ T2が児童の手元を写し、T1が評価を行う。
- ◆ T3は音声で伝えたりや丸を付けたりにすることで評価を行う。
- ◆ T3が児童の書いたプリントを撮影し、Classroomに投稿する。  
→ T1が評価を行う。



# (7) まとめ-環境面-



## ① 人的確保

校内教育支援委員会（夏季休業中）で、人的確保（支援学級担任1名）を行う。

## ② 時間調整

通級職員2名と支援学級担任1名で、指導可能な時間を調整する。



## ③ 場所の確保

空き教室の確認（学習室）をする。



## ④ ネット環境・ 周辺機器の確認

- ・Wi-Fi環境
- ・プロジェクターの有無
- ・スクリーンの有無 など



# (7) まとめ-指導場面-

在籍校の先生と確認すること

指導内容



指導の流れ

役割分担

評価の  
すり合わせ  
(読み)

共有  
プリントの  
記入状況の

共有  
使用教材の

通級職員が配慮すること

児童への  
動機づけ

提示する  
教材の工夫

遠隔指導と  
対面での指導